

理想の農業を目指して

母親の実家が山形県の庄内地方にあり、子供の頃から美味しい米を食べて育ちました。昔から食や料理に興味はありましたが、農家になろうとは思っていませんでした。しかし、東日本大震災の食べ物がなかった時に、農家の方だけは食に困った様子がないことに気が付きました。これをきっかけに自分も農業をしよう！美味しい米が作りたい！と一大決心をしました。

就農活動する中で、朝日町に移住しりんご農家となった方と出会ったことで朝日町を知り、自然環境などがとても気に入る「ここでなら、自分の目指している方法での農業が出来る！」と確信し、朝日町での就農に至りました。

まだまだお金を稼ぐのはとても大変で、物をお金に換えていくことの難しさを痛感しています。しかし、毎年新しい栽培方法にチャレンジし成果が見えるところにやりがいを感じ農業をやっていて良かったと思います。

まずは収量を安定させ自分の農業を確立していきながら、「新農業人ネットワーク山形」を通じ「新規就農者は新規就農者が育てる」をポリシーに、少しずつでも確実に農業者を増やしていきたいです。

〈これから就農を目指す人へのアドバイス〉

諸先輩（身近で年代の近い）にたくさん話を聞くことが大切です。自分から行動し、様々な人と仲良くなることを頑張ってみてください。きっとその先に繋がるはずです。

丸山 祐輝さん

【出身地】宮城県仙台市

【就農前の職業】会社員

【就農地】朝日町

【就農年度】平成27年度

(H26年4月から独立就農者
育成研修で1年間研修)

【経営概要】稲作1ha、りんご30a、大豆30a

